

② 市内民間企業での女性活躍推進の支援は

2015(平成27)年9月に公布された女性活躍推進法は、常時雇用する労働者が301人以上の事業主に女性の活躍に向けた「一般事業主行動計画」を届出、公表することを求めています。「女性の活躍推進企業データベース」には全国約14,000社の事業主の行動計画が掲載されており、小平市内のあけぼのパン(株)、一般社団法人多摩緑成会、高杉商事(株)など14法人の計画も掲載されています。これら14法人のうち(株)東京音楽センターとメディアプライム(株)の2社は、女性の管理職比率や労働時間などの基準を満たす法人が認定される「えるぼし」マークを取得しています。

2019(令和元)年6月に女性活躍推進法が改正され、一般事業主行動計画の届出・公表義務が、常時雇用する労働者が101人以上の事業主に拡大され、来年4月から施行されます。対象の拡大で新たに義務付け対象となる市内事業主は、約50社だそうです。これら50社に、新たに対象になることをどうやって知らせるのか聞いたところ、「女性活躍推進のための行動計画策定支援セミナー」のお知らせを郵送する、とのことでした。その後、3月に行われたこのセミナーへの参加者は9名で、PR不足が惜しまれます。

③ 市役所での女性活躍のための取組は

女性活躍推進法は、自治体にも「特定事業主行動計画」の策定を求めています。小平市の計画「HAPPYこだいら女性活躍編」は、2020(令和2)年度までの目標値として、男性職員の育児休業取得率13%、管理職の女性比率30%、職員1人あたりの年間時間外勤務139時間以下、を掲げていましたが、実際はそれぞれ5%、18%、平均169時間でした。

管理職の女性比率が18%にとどまった理由について、市は、女性職員の75%が管理職への昇任を望んでいない(市職員対象の「仕事と子育ての両立に関するアンケート調査」の結果)ことが要因の一つ、と答弁しました。しかし、女性職員が昇進を望まない理由としては、休日出勤や超過勤務などで仕事と家庭の両立が難しくなること、などが上げられています。ワークライフバランスの実現に市が率先して取り組むことが必要です。



これらの小平市議会3月定例会における水口かずえの一般質問とそれに対する回答の全文をホームページに掲載しています。ぜひお読みください。

コロナ関連予算



2020(令和2)年度一般会計補正予算第8号 2月19日可決

国からの支出金で、市民全員が2回ワクチンを接種するための費用12億8972万3千円が盛り込まれました。ワクチン接種を待ち望んでいる人もいますが、副反応などへの心配から接種を望まない人もいます。

国会では昨年12月の予防接種法改正の際、接種するかしないかは国民自らの意思に委ねられるものであり、ワクチンを接種していない人に対する差別、いじめ、職場や学校等における不利益扱いなどは決して許されないことを周知徹底することが附帯決議されました。

小平市では、どのように対応するのか聞いたところ、市報やHPに掲載したり、予防接種券発送の際に注意書きを同封することを検討するとの答弁があり、そのとおり実現されました。



2021(令和3)年度一般会計補正予算1号 3月26日可決

都の補助金を利用し、今年4月から6月までの障がい事業所と介護事業所でのマスクや消毒用品など衛生用品の購入経費補助にそれぞれ700万円と1610万円(1事業所あたり上限10万円)、PCR検査費用補助(1件あたり上限2万円)にそれぞれ1377万円と2023万円を計上しました。これらの補助は昨年7月から実施されていますが、特にPCR検査費用補助予算のこれまでの執行率が、障がい事業所で0.15%、介護事業所で1割弱と著しく低いことが、審査の過程で問題になりました。市民のために確保された予算が必要なところで十分利用されるよう、情報をしっかり届ける努力が市に求められます。

生活文教委員会 3月10日、5月14日

「小平市立体育施設条例の一部を改正する条例」は、今年4月から花小金井南中学校地域開放型体育館の供用開始に合わせ、花小金井武道館を閉鎖し

て解体するため、小平市立体育施設から花小金井武道館を削除するものです。

花小金井武道館の閉鎖については、2019年3月議会で「利用者に配慮してできるだけ長く継続利用させてください。」という請願が可決されています。

3月10日の審査は市長選挙の前で、新市長の方針によっては花小金井武道館の継続もあり得るとの理由で、審査の継続を求める委員が過半数を占め、継続審査となりました。

ところが、市長選挙後の5月臨時議会で、施行日を変えただけの全く同じ議案が再び出されました。市長の交代で、武道館解体を少しでも延期して検討するなど、請願に込められた市民の思いに応える政策転換を期待しましたが、無為に終わりました。

小川西グラウンド人工芝化の休止

2020(令和2)年度一般会計補正予算第9号(3月26日可決)は、歳入・歳出の過不足を調整する予算で、歳入・歳出ともに7億8575万円減額しました。このなかで、小川西グラウンド人工芝化整備設計費用389万4千円が減額され、人工芝化が一旦休止されることになりました。私は、人工芝がマイクロプラスチックとなって環境や健康に与える影響について、2019年12月議会で一般質問しました。市のマイクロプラスチック問題へのとりくみ強化を求めています。

小平市公文書等の管理に関する条例の成立 3月26日

市の文書は「市民共有の知的資源」であり「市民が主体的に利用し得るもの」と規定しました。市が保有していた文書のうちこれまで「永年保存」とされていたものは、30年保存した後に図書館に移管して公開し、市民が利用できるようになります。

「情報は民主主義の通貨」というトマス・ジェファソンの言葉があります。市がもつ情報を市民のものとして適切に管理し公開するための基盤となるこの条例は、民主主義に欠かせない道具の一つです。

3/4 玉川上水みどりといきもの会議の鳥類調査
鎌倉橋からいこい橋まで歩きながら、鳥を記録しました。玉川上水にジャンプして小魚をつかまえたカワセミを見ました。

3/17 西東京朝鮮第一中学校見学
国立西国大駅近くにあり、幼稚園から中級部までの子どもたちが学んでいます。元気に挨拶してくれる子どもたちが可愛かった。

3/27 小平子どもと教育を守る会「GIGAスクールって何？」
先進的に教育のICT化を進める小平市の教員の方から、子どもたちへの影響や、使い方のマナーを指導する必要などを聞きました。

4/4 玉川上水ミニ観察会
毎月変化する動植物に心癒されます。この日は、フデリンドウやアマナ、チゴユリなど早春の雑木林の花を観察しました。

4/3 生理用品の無償提供を求める要望書を市長に提出
コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」に対応するため、学校のトイレでの生理用品の無償配布などを求める要望書を提出しました。

4/5 国平寺見学
朝鮮から日本に連れて帰国できなくなった方々のお骨を納める国平寺を訪れ、在日の方々の苦勞の一端についてご住職からお聞きしました。